



<http://www.scout-ib.net/>

## ◆ 富士永久章が制定されました。

富士永久章が平成28年1月1日より新設されます。これにより、かつてシニアスカウト部門の富士スカウト章、ベンチャースカウト部門の富士章、富士スカウト章を受章した指導者は、一律に「富士永久章」を着用することができるようになりました。

平成9年のプログラム改定により、シニアスカウト部門からベンチャースカウト部門に移行した際に、富士スカウト章略章の規程が削除され、教育規程施行細則9-9-7の付記として、「シニアスカウト部門で富士スカウトであった者は、富士スカウト章略章を着用することができる」とし、現行のベンチャースカウト部門の富士スカウトは、教育規程施行細則9-9-8により、スカウト顕彰富士をスカウトとして在籍期間着用することができることとしました。

日本連盟の施策により、進歩の最高位であるこの章を受章したものに略章・記章の着用の違いが生じているため再度見直しを行い、シニアスカウト部門の富士スカウト章、ベンチャースカウト部門の富士章、富士スカウト章を区別す

ることなく、富士スカウトであったものは、一律に「富士永久章」を着用することができるように規程改正します。

### 規程改正 富士永久章の新設

9-9-9(11) 富士永久章

(1) シニアスカウト部門の富士スカウト章、およびベンチャースカウト部門の富士章または富士スカウト章を受章した者は、着用することができる。

(2) 富士永久章は次の通りとする。

(下表)

#### ●着用位置：左ポケット中央部

富士永久章は指導者の記章とし、仕様は富士スカウト章略章と同様とします。そのため、現行のベンチャースカウト部門で富士スカウト章を受章した者は、スカウトとしての在籍期間は、教育規程施行細則9-9-8に示されている「スカウト顕彰富士」を着用することができますが、指導者になった際は、教育規程施行細則9-9-9に示されている「富士永久章」を着用することができます。



#### ●例：

- 富士スカウト章を受章しているベンチャースカウトは、進級記章の富士スカウト章を着用します。※富士永久章やスカウト顕彰富士は着用できません。
- かつてベンチャー部門の富士章または富士スカウト章を受章したローバースカウトは、スカウト顕彰富士を着用することができます。※富士永久章は着用できません。
- かつてシニア部門の富士スカウト章、ベンチャー部門の富士章、富士スカウト章を受章した指導者は、富士永久章を着用することができます。※スカウト顕彰富士は着用できません。
- 県連盟申請頒布品です。

品番：51257 金額：13円(税込)  
購入方法

上記の通り、県連盟頒布申請品となりますので、富士章番号とともに県連盟事務局に購入申請してください。

区分	仕様・図柄	寸法	地色	着用部位その他
永久富士章		2×4cm	えんじ色	上着の左ポケット中央部に、正しくつける。

## ◆ 平成27年度冬季の諸活動に向けて

県連盟コミッショナー

### 1. 活動計画について

冬季は、スキー、スノーボード、スケートなどのウィンタースポーツ、雪中キャンプや雪中ハイキング等、冬の自然が感じられる活動や冬ならではの様々な活動が展開されます。

活動時は、スカウトの体力、技能、その日の体調等を考慮し、安全かつ楽しい経験が出来るよう取り組み、夢と冒険心あふれる冬季の諸活動を通じて、スカウトの心身の成長を促す機会にします。そのために、指導者は、教育効果や安全確保を疎かにすることなく、基本どおりプログラムプロセスに添った十分かつ綿密な計画を作成します。

活動終了後には、万が一に備え、協力の要請をお願いした緊急連絡先や関係機関（病院、警察、消防、関係県連盟等）に、お礼とともに無事終了の報告をお願いします。

### 2. SAFE FROM HARM「危害から守る」～思いやりを育むプログラム～の実践

本連盟は、平成27年4月にセーフ・フロム・ハームガイドラインを示し、スカウティング誌5月号においても記事掲載とともにリーフレットを同封し、全てのスカウト活動に「セーフ・フロム・ハーム」を周知しました。

最も安全な環境を提供すると共に社会へのスカウト運動の信頼を高めるために、全ての指導者は、セーフ・フロム・ハームの考え方を理解・実践し、そして全てのスカウトは、「思いやりの心」を育むためにセーフ・フロム・ハームを学びます。

### 3. 安全対策

#### (1) スキー、スノーボード、スケートの活動時における安全対策

- ①自分の体力や能力、地形や気象の状態、その他の状況に合わせたコースの滑り方に心がけ、自分の技術以上の斜面での滑降やスピードを出し過ぎないようにします。
- ②事故は、指導者の目の届かない自由滑走時に多く発生していますので、状況に応じた具体的な指示、指導を徹底し安全確保に努めます。
- ③安全用具（ヘルメット、プロテクター、手袋等）の着用に十分配慮します。
- ④スキー場等ではルールを事前に把握し、厳守します。
- ⑤特に引率指導者が重度の怪我を受傷することが多く見受けられます。スカウト同様に

十分な安全確保をします。

#### (2) ノロウイルス等の食中毒の予防

食中毒は夏季に多いイメージがありますが、1年を通じて発生しています。

冬季は「ノロウイルス」等のウイルスによる食中毒が発生しやすくなっています。ノロウイルスは、感染力が強く、大規模な食中毒など集団発生を起こしやすいため、餅つき等調理を伴う活動においては、調理者の健康管理、手洗い（トイレに行ったあと、調理施設に入る前、料理の盛り付け、次の調理作業に入る前等）、調理器具の消毒等、感染防止について一層の啓発と指導を徹底し、肉の生食や加熱不足の肉料理は避けず。

なお、厚生労働省ホームページに食中毒予防に関するリーフレット等各種情報が掲載されていますので、参考にしてください。（[http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/shokuhin/syokuchu/index.html](http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/index.html)）

#### (3) 登山・ハイキングでの安全対策

これらの活動には、道迷い、落石、雪崩、低体温症などの危険があります。危険を予知し対処できるようにします。

また、体力増強や体調管理を図り、コンパスワークや読図等のスキルも事前に修得し安全対策の一助とします。

ホームページに日本連盟コミッショナー通達「登山・ハイキングの実施に関して」を掲載していますのでご参照ください。（[http://www.scout.or.jp/information/comi\\_tozan\\_20131218.html](http://www.scout.or.jp/information/comi_tozan_20131218.html)）

#### (4) 天候チェック

活動前に必ず気象の予報チェックを行い、プログラムの実施、変更、延期または中止等適切に状況判断し決定します。

### 4. 公共マナーの遵守

公共交通機関での移動や公共施設利用時は他の利用者の見本となるよう「ちかい」と「おきて」の実践に努めて行動します。

### 5. 各種書類の提出

活動場所や内容に応じて必要書類を県連盟や行政管轄部署等に提出することが求められています。

登山等の活動を実施する場合、登山計画書（登山届）を管轄している警察署等に提出します。

活動を県外で行う場合は、隊指導者は団を経由して所属県連盟に県外旅行申請書を提出しま

す。

全ての活動において、隊指導者は、実施計画書、安全計画書を必ず事前に作成し、団に提出し承認を得ます。

### 6. 指導者自身の安全（健康）管理

プログラムを実施する上での安全管理において、まず頭に浮かぶのがスカウトの安全です。しかし、その前提にあるのは言うまでもなく、**指導者自身の安全**です。指導者の安全がしっかりと守られていなければ、安全なプログラムの提供やスカウトの安全管理はできません。

とかく、プログラムにおいては、スカウト中心に物事を見る事が多く、指導者については、つつい疎かになってしまいませんか。スカウトであろうと指導者であろうと、事故やケガを未然に防ぐのは同じであり、起こってしまったからでは取り返しがつきません。

また、スカウトにとっては指導者の存在は大きいものです。指導者の存在があるからこそ、スカウトたちは楽しく魅力ある活動に打ち込めるとのです。当然、スカウト自身の安全管理も必要ですが、最終的に安全を守るのは間違いなく指導者にほかにありません。その指導者自身が自分の安全管理ができていないことで、肝心な状況把握や、スカウトの安全を守れないなどということが絶対にあってはなりません。

そのためにも、指導者という役割に就いたなら、まずは、『自分自身の安全知識、安全対応力、安全確保力そして自身のコンディションは大丈夫なのか？ベストなのか？』といった問いかけを行うことが必要です。

### 7. その他

冬季は気象条件や環境の変化が厳しいことから、通常時の安全対策に加え、冬季に応じた対策を念入りに行います。

活動計画の折には、事前準備を十分行い、実施中は状況に応じた具体的な指示・指導を徹底し安全確保に努め、万が一事故発生の際は迅速で的確な対応がとれるよう取り組みます。そして、スカウト・指導者一人ひとりが安全への意識を高め「自分のことは自分で責任をもつ」心構えの醸成に努めます。

## ◆ RS 部門「英国エディンバラ公 国際アワード」研修会開催

To ローバー隊隊長

### ●英国エディンバラ公 国際アワードについて

ローバースカウト部門には、進歩制度がありません。個人で、またチームで自己啓発を行うことが、部門として在り方でした。しかしながら、各団ではほとんどローバー独自の活動は行われていないので現状です。そこで、自己啓発の目標となり、部門の活性化につながるものとして、この「英国エディンバラ公国際アワード」が、ローバー部門のプログラムの1つとして提供されてました。

個人がサービス、スキル、フィジカル・レクリエーション、アドベンチャラス・ジャーニーの4つのセクションにおいて目標設定を行い、進捗を記録していきます。

140以上の国と地域で展開されており、世界的にも認められているアワードですので、対象者はぜひ挑戦してください。

### ●「英国エディンバラ公国際アワード」とは

#### ①名称

The Duke of Edinburgh's International Award

日本では「英国エディンバラ公国際アワード」とする。

#### ②歴史

1956年、英国のエリザベス女王の夫である、エディンバラ公フィリップ王配殿下の提唱により世界レベルの青少年育成プログラムを目指して「The Duke of Edinburgh's Award」としてスタートした。現在は、143の国と地域で実施されており、今日までに800万人以上の若者がアワードに挑戦した（2012年では20万人以上）。

2013年に世界的なシステム変更があり、上記名称となった、

#### ③目的

個々の青少年が累進的な自己開発プログラムにより、有為の人生を送るうえで必要な能力を高める。

#### ④対象年齢

14歳～24歳だが、ボーイスカウト日本連盟では、18歳以上24歳以下のRS（同年代の指導者も含む）を対象とする。

但し、25歳の誕生日前にアワード修了が可能者。

#### ⑤アワードの特徴

アワードは「賞」で、これを受賞するための取得要件（プロセス）を「プログラム」として提供し、アワードリーダー等の支援を受け、各個人が挑戦する。参加者は、ボーイスカウト日本連盟を通して申請する。

#### ⑥アワードの仕組み

アワードは、一人ひとりが4つの活動分野への継続的挑戦により授与される。

### ●3つのレベルの挑戦

ブロンズ（銅） 最低6か月の挑戦

シルバー（銀） 最低12か月の挑戦

ゴールド（金） 最低18か月の挑戦

どのレベルからでも挑戦できますが、シルバーおよびゴールドへの挑戦を推奨します。

### ●4つの活動分野

#### ①サービス (The Service Section)

どうしたら社会に貢献できるか、また、他の人々への有効な奉仕活動を行うことを実践により学ぶ。

#### ②スキル (The Skill Section)

個人の興味や関心（趣味）を探る活動、創造的で実践的な技能を獲得する活動への挑戦。

#### ③体育レクリエーション (The Physical Recreation Section)

スポーツ等の身体的なレクリエーションを通じて肉体の可動性を試し、鍛錬することで健全な身体育成を目指す。

#### ④冒険の旅 (The Adventurous Journey)

見知らぬ土地の自然のなかで探検することで、チャレンジ精神や探究心、過酷な環境でも生活できる自信を養う。（ゴールドレベルのみ「レジデンシャル・プロジェクト」あり）

### ●アワードの認証

#### <最低挑戦期間終了>

→個人の進歩の評価。評価は研修を受け、認定された「アワードリーダー」が行う（個々人の上達、意欲、努力を評価）。

#### <すべての分野を達成>

→アワード獲得と判断される

→アワード授与式で、バッジと証書を授与。

バッジは制服に着用することができます（平成26年4月1日施行）。詳しくはこちら（PDF）

※英国エディンバラ公国際アワードプログラムを提供するため、平成25年にアワードリーダー研修会が行われ、120人の指導者が修了・認定されている。

### ●参加対象

ローバースカウト及び同年代の指導者（18歳以上24歳以下で、25歳の誕生日前にアワード修了が可能者）

## ●アワードリーダー研修会

詳しい内容は、日本連盟ホームページ「メンバー向け情報→青少年プログラム→英国エディンバラ公国際アワード」をご覧ください。

このように、このアワードは、ローバースカウトにとって、自己啓発の目標となり、各団のローバー隊の活性化につながるものですから、是非とも各団ローバー隊長は、このアワードについてきちんと理解されるようよろしくお願いします。

また、本年度内に関東ブロックにおいてアワードリーダーの研修会を開催します。ローバー隊長等ローバースカウトをサポートされる指導者におかれましては、この機会に是非ご参加ください。

### ◎研修日時・開催場所

- 平成28年3月19日（土）東京：ボーイスカウト会館
- 申込 県連事務局に、2月27日（土）までに  
申込みを受けて、県連盟で審査の上、日本連盟に参加者を推薦します。（県連の推薦枠は5名です）
- 対象 26歳以上のローバーをサポートできる指導者
- 参加費 6,000円予定
- スケジュール（予定）

9:30:受付～16:00:終了

※担当県連、または日本連盟等の都合により、今後変更する可能性があることをご承知おきください。

## ◆「第2回指導者のつどい」のお知らせ

再三に亘ってお知らせしている「安全管理・危機管理」ですが、現在県連盟では、コミッショナーが中心になって、団常備用の「安全管理・危機管理ハンドブック」と指導者それぞれが携行する「安全手帳」を鋭意作成しています。その重要性に鑑み、それらの発行と団・指導者への配付、そして内容の周知・共有は、一日でも早く行わなければなりません。

そこで、第1弾の「安全管理・危機管理ハンドブック」が1月に発行されるのを受けて、指導者の集いの内容を変更して、安全管理と危機管理をテーマに、その管理体制の整備、危機の発生を未然に防止するための事前対策、危機発生時の対応や再発防止に向けた対策を含めた幅広い局面に対応していく取り組みについて研究します。

**※団委員長と各隊隊長は、最優先での参加をお願いします。**



### ●アウトライン

- 日時：2016（平成28年）年2月7日（日）  
9:30～16:00（受付9:10～9:30）
- 場所：茨城県立青少年会館・大研修室
- 参加対象：団委員長と全ての隊の隊長（もしくはその代理者）  
副長・デンリーダー等の参加も歓迎です。
- 参加費：¥500（資料「安全管理・危機管理ハンドブック」が追加で必要な場合+ ¥2,000円/冊）  
※参加各団に1冊は無償配付します。
- 持ち物・服装：昼食、飲み物、マイカップ、筆記用具。制服。
- 申込み：2月4日（木）正午までに、各団連絡先に送付してある参加申込書（Excel）に入力の上、県連事務局に送付ください。
- その他：駐車場が狭いので乗り合わせでお越しください。

### ◎安全管理・危機管理に関する県連の動き

現在県コミグループでは、各団本部で常備しておくための「安全管理・危機管理ハンドブック」の最終仕上げをしています。これは各団に1冊配付しますが、指導者各位が、県連ホームページからダウンロードして、各指導者が持つことを推奨するものです。

同時に県連盟コミッショナーの作業チームとして、各部門の専門家を交えた「安全管理・危機管理特別チーム」（チーム長：関原副コミッショナー）を編成して、「安全手帳（仮称）」の編纂にとりかかる準備をしています。この安全手帳は、指導者が活動中にいつでも確認できるように、制服の胸ポケットに入れて携行できるサイズの野外活動における安全管理・危機管理の概要版で、今年の夏季の活動シーズン前までには、指導者全員に配付できるように計画しています。

## ◆世界中の難民の方々へ UNIQLO × UNHCR

### 「1000万着のHELP」

～私たちとともに、世界中の難民に服を届けましょう～

今世界は、かつてないほど大勢の難民であふれています。安全な新しい場を求めて、故郷を捨てざるを得ない人々が何千万人もいます。

ユニクロは、国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）と協力し、1000万着の服を世界中の難民の方々に届ける活動をしています。

ご不要になったユニクロ・ジーユーの服は、ぜひ店頭のボックスへ。あなたの1着には、世界を変える力があります。どうか、ご協力をお願いします。

世界スカウトジャンボリーにご協賛いただいたユニクロ（株式会社ファーストリテイリング社）は、国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）と協力し、1000万着の服を世界中の難民の方々に届ける活動をしており、さまざまな企業・団体・学校等でもこの活動に参加協力しています。

この度、ボーイスカウトにも協力の要請がありました。今後、回収方法など日本連盟ホームページに掲載してまいりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

ユニクロの活動紹介ページは以下のとおりです。

<http://www.uniqlo.com/jp/csr/10MillionWaysToHelp/>



### ◆回収方法について

○いつでもお預かりしています（営業時間内）。全国のユニクロ・ジーユー店舗にお持ちください。

### ◆お持ちいただく服について

- ユニクロ・ジーユーで販売した全商品が対象です。
- よい状態でお届けするために、お洗濯の上、お持ちください。
- 貴重品などが入らないようご注意ください。衣服のポケットなどに入っていた物に関しては、責任を負いかねます。